

灯ろう祭りを支える人びと



写真撮影 / 豊永 和明

武内町の飛龍窯で毎年2月に行われ、今年11回目を迎える平成最後のTAKEO・世界一飛龍窯灯ろう祭り。

約6,000個の灯ろうが作り出す幻想的な風景が話題となり、今では市内外から約2万人の観光客を引き寄せる武雄の冬のイベントとなっております。

灯ろう祭りの運営には地元武内町民や学生たちのほか、市民ボランティアの方々の協力が欠かせません。今回は、灯ろう祭りを陰で支える人々にお話を伺いながら、灯ろう祭りの成り立ちや地域の方々の関わり、今年の灯ろう祭りの見所、そして同時開催のタケさんぽ武内コースのオープニングイベントについてご紹介します。

武内町の飛龍窯、その成り立ち

灯ろう祭りの会場である飛龍窯が築かれたのは平成8年。佐賀のやきものをテーマに有田で世界・焔の博覧会が開催され、そのサテライト会場として武雄のやきもの原点である黒牟田焼の里に、世界一の容積を誇る登り窯が誕生したんですよ。全長23m、一度に湯呑みを12万個焼成できるほどの容積です。

この飛龍窯を活用して、全国からやきものを募って窯で焼成するイベントを実施していましたが、しだいに窯の劣化により焼成が難しくなりました。他の形で飛龍窯に集客ができないかと、武内町民と観光課とで話し合い、バレンタインの時期に若者の出会いをテーマとした光のイベントとして平成21年に灯ろうまつりが誕生しました。

今では、県外からの観光ツアーも組まれるなど、多くの方に親しまれるイベントに成長しています。

一度に12万個のやきものを焼成していました！



武内愛は 誰にも負けない！



小柳義和区長会長 (武内町 梅野区)



3日3晩 焚き続けるのは重労働！

武内町民の灯ろう祭りへの関わり

灯ろう祭りに向けて、武内町民総出で灯ろうの設置や会場の設営、市内外への告知活動などを行っています。イベント後は課題について話し合い、翌年もっとお客さんに喜んでもらえるような仕掛けが出来ないかアイデアを出し合っています。

会場に2つ隠されたハートのタイルを探すアイデアは地元から！



寒い中、毎年ご協力いただき、地元の方に感謝！



体力ある若者の力がありがたい…。



武雄北中学校 卒業制作の一例

灯ろう祭りを盛り上げる若い力

会場内の灯ろうは、市内の小学校の児童・生徒にも制作いただいています。武雄北中学校3年生の卒業制作は、灯ろう祭り会場を盛り上げています。例えばペイントを施したベンチや飛龍窯で焼成した看板、飛龍窯を描いた絵などを作成してもらっています。会場の設営は、市内ボランティア・武内小学校の皆さんなど、撤収は武雄北中学校などにご協力いただいています。この様な若い人たちの協力は灯ろう祭りには欠かせません。



年々広がるボランティアの輪

九州電力では、地域の皆さまと協力して地域課題の解決に取り組む「こらぼらQでん」を九州各地で行っており、縁あって平成29年より灯ろう祭りの準備作業のボランティアに参加しています。灯ろう並べや会場設営、街灯の清掃のほか、弊社で取り組んでいるエコ活動のマイ箸作り体験も行いました。地元の方と交流できる良い機会になっており、灯ろう祭りのボランティアとして、今後も関わっていきたいと思っています。



マイ箸作りは、子どもにも大人にも大好評！



昨年より ボランティアに参加！



宮原営業グループ長 (九州電力武雄営業所)

九電ボランティアとして社員・家族約60名が参加！



武内一の アイデアマン!?



古賀和巳区長 (武内町 東真手野区)

多くの方のご協力で

成り立っています！

次のページでは今年の灯ろう祭りの見どころを紹介します！



観光課 白木

〈ご協力いただく企業様一覧〉 (敬称略、順不同)

- 電気設備・協賛 株式会社 九電工 / 株式会社 佐電工 株式会社 宮園電工 / 株式会社 岡田電機 株式会社 有明電設 / 株式会社 笠原電設
- テント寄贈 清本鐵工 株式会社 / 九州製鋼 株式会社

得意分野を生かしてお手伝い！

